2023
Vol.30

九大別府病院だより

Kyushu University Beppu Hospital

外来診療棟屋上において撮影（令和5年6月）

病院の理念・基本方針

理　念

患者さんに満足され、医療人も満足し、医療の発展に貢献する病院を目指します。

基本方針

- ◆ 高度医療の提供と研究開発の推進
- ◆ 地域医療への貢献
- ◆ 全人的医療を実践する医療人の養成
- ◆ より高い医療安全の追求
- ◆ 情報技術を基盤にした国際化の推進

患者さんの権利と責務

私どもは患者さんの権利を守り、病院の理念に基づいた、公平で良質な医療を提供することを目指します。

新病院長ご挨拶 …… 2
地域医療連携室長のご挨拶 …… 3
地域医療連携室　新任職員紹介 …… 3
紹介元医療機関の紹介 …… 4
新任医師の紹介 …… 5～7
外来診療案内等 …… 8

九州大学病院別府病院
Kyushu University Beppu Hospital

病院長ごあいさつ

九州大学病院別府病院長

三　森　功　士

このたび令和5年4月より九州大学病院別府病院　病院長を拝命いたしました三森功士（みもりこおし）でございます。何卒よろしくお願い申し上げます。

弊院は昭和6年より九州帝国大学温泉治療学研究所の診療科として発足して以来、九州大学生体防御医学研究所附属研究所、九州大学先進医療センターを経て、平成23年に現在の九州大学病院別府病院として再出発いたしました。

最新の知識/技術/機器を擁する九州大学本院のクオリティを別府市にて展開する、難治性疾患に立ち向かう最後の砦としての役割を自負してまいりました。その一方で、開院以来ずっと地域の先生方にお支えいただいている医療機関でございます。先生方のお困りの折にこそお役に立てる病院でありたいと考えていますので、引き続き、変わらぬご愛顧とご指導ご支援を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、昨年度大変嬉しいニュースがございました。当院は最後の改築から半世紀が経過し、近年目に見える形で老朽化が進んでまいりましたが、このたび新病院の建設を含めて別府地区九州大学病院の再開発が実現する運びとなりました。これもひとえに当院をお支えいただいた別府市を中心とした大分県全域の皆さまそして先生方のお蔭であり、この場をお借りして厚く御礼を申しあげます。この九大別府病院再開発はわれわれ全ての職員の歴史的な悲願でありますが、サッカー W杯や野球WBCの日本代表が教えてくれた様に、夢に向かって全員がひとつに纏まることで大願は成就できるものだと思います。前病院長の堀内孝彦先生（現福岡市民病院院長）の音頭の下、われわれ職員も全員が一丸となって、診療実績の向上に取り組むなどして夢の実現に漕ぎ着くことができました。令和5年4月現在、来年3月の開院にむけての工事も進み、様々な準備に鋭意取り組んでおりますが、夢を完全に実現するためには今日までに醸成された期待と希望の空気を大切にしながら、最後の釘を1本打つまで、心は熱く慎重かつ丁寧に取り組んでまいりたいと存じます。

このように、今年度は特に大変重要な一年となりますが、4月より内科（リウマチ膠原病内科、循環器、内分泌・糖尿病、血液、骨粗鬆症、老年病）、外科（肝胆膵疾患、消化管疾患、乳腺疾患）、整形外科（脊椎疾患）、放射線科（画像診断、放射線治療）、麻酔科の5科で診療を行ってまいります。さらに来年4月の婦人科の開設にむけても鋭意準備を進めてまいりたいと存じます。

いずれの診療科におきましても難治性あるいはQOLの著明な低下が問題となる疾患を治療対象としています。この様な苦しみをもつ患者さん・ご家族に寄り添い、少しでも笑顔を取り戻すことができるように誠心誠意一生懸命頑張りたいと思います。「もし自分あるいは自分の家族が病気になったら、かかりたい病院」を合い言葉に職員一同、一丸となって頑張りますので、みなさまにおかれましては、厳しく見守りいただきながら、どうか温かいご指導ご支援を賜りますよう何卒よろしくお願い申しあげます。

令和5年吉日

地域医療連携室長就任のご挨拶

地域医療連携室長

播广谷　勝三

［はりまや かつみ］

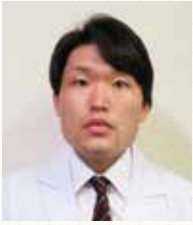
令和5年4月より九州大学病院別府病院 地域医療連携室長を拝命いたしました播广谷勝三です。別府に参りまして早6年が経過し、これまでは整形外科診療科長として脊椎脊髄疾患に取り組んで参りました。日頃よりお世話になっている皆様にこの場を借りて心より御礼申し上げます。今年度からは地域医療連携室を通して、お世話になっている医療機関と当院との連携にも携わってこれまで以上に地域医療に貢献して参りたいと考えております。

当院は九州大学温泉治療学研究所を前身とし、現在は九州大学病院の分院として診療にあたっております。内科、外科、整形外科、放射線科、麻酔科から構成されており、各科はそれぞれ特徴を持った診療を行っております。現在は新病院建設中であり、今年度末の開院を目指しております。また、来年度からは新たに婦人科を加えて診療体制の充実を図っていく予定です。

この3年間は新型コロナウイルス感染症が世界的に猛威を振るい、わが国においても医療がひっ迫する中で国民一人一人の努力と協力によってひとまずの落ち着きを取り戻しつつあります。この5月から法律上は5類感染症に位置付けられましたが、感染力が低下するわけではないため医療の現場では引き続き注意が必要だと思われます。そのような状況下で新たな医療提供体制が求められることになり、これまで以上に「緊密な病診連携」が重要になると考えられます。

当院の地域医療連携室は、3名のメディカルソーシャルワーカー、1名の看護師、2名の事務職員から構成され、院内のメディカルスタッフの協力のもと運営されています。お世話になっている先生方と当院との更なる連携強化を図り、地域医療に貢献できるよう誠心誠意努力いく所存ですので、今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

地域医療連携室　新任職員紹介



地域医療連携室
医療ソーシャルワーカー（MSW）

加藤　光［かとう ひかり］

令和4年9月より地域医療連携室で医療ソーシャルワーカーとして勤務させていただくことになりました、加藤光と申します。以前は、地域包括ケア病棟や高齢者施設を有している医療機関で医療ソーシャルワーカーとして勤務し、在宅復帰や介護連携について経験を積んで参りました。趣味はesportsです。

相談援助職として、『話を聴く』ということ、また前段階として、話しかけやすい雰囲気づくりが大切だと考えています。何かお困りのことがございましたら、お声かけいただけたら幸いです。

前職の経験を活かし、九州大学病院別府病院の一員として自己研鑽に努め、一人でも多くの患者様に寄り添えるよう頑張ります。何卒よろしくお願い致します。

地域医療連携室
医療ソーシャルワーカー（MSW）

花木　瑛美［はなき ひでみ］

令和5年1月1日より九州大学病院別府病院で勤務しております花木瑛美と申します。MSW経験は4年目で、これまで別府医療センター、西別府病院で勤務しておりました。患者様やご家族様と関わらせていただく中で「MSWとして何ができるのか」ということを常に考えながら過ごしております。担当科は外科と内科です。

私のリフレッシュ方法は、魚釣りです。自然の中で、一年中釣りをしています。釣れないこともよくありますが、気分転換も兼ねて自然と触れ合っています。釣りの話などもしていけたらよいなと思っています。

来年から新病院がスタートするにあたり、楽しみもあり、気が引き締まる思いです。まだ、慣れないことも多々ありますが、一生懸命頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

紹介元の医療機関のご紹介

博慈会　内田病院

院　長　内田　明宏　先生

内田病院

内田明宏院長

みなさん、こんにちは。

博慈会内田病院理事長・院長の内田明宏です。

当院は、1902年に私の曽祖父初三郎が、夜間診療所として開業したのが始まりです。開業120年になります。２代目の祖父　集司は、三人兄弟で、最初は当院で一緒に医療を行っておりましたが、その後、次男が内田医院(現　餅ヶ浜医院)、３男が富士見病院(現　別府中央病院)を開業されました。祖父は、温研(貴院)で研修をしたと聞いております。当院３代目の父は養子で、石垣に内田内科医院を開業しておりましたが、祖父が亡くなり、内田病院に来ることになりました。現在の内田病院は、消化器内科の長男の私と、血液内科の長女の石田郁子、整形外科の次男の内田研の兄弟３人と、麻酔科の中村浩司先生、　整形外科の小畑彰先生の常勤医５名です。整形外科、内科を中心に医療を行っております。病床は、８１床で、２階に40床の地域包括ケア病棟、３階に急性期病床41床です。また、４階には、サ高住“つどい”を16床運営し、訪問看護、ヘルパーステーション、訪問リハビリ、内田介護支援センターを併設しております。5階には、デイサービスと手術室があります。病室は、広くはありませんが、全室個室で、室内にトイレとシャワーを完備し、室料は取っておりません。整形外科の人気は相当なもので、手術件数は年間550例を超え、UKA,TKAを中心にかなりの実績と良好な成績で、手術待ちの方がいらっしゃるほどです。九州大学病院別府病院とは、長きにわたっての関係があります。外科の先生方には、何十年にもわたり、当直や外来診療を行ってもらっております。また、急患から難しい症例まで、すぐに対応してもらっており、非常に助かっております。内科の先生方にも、リウマチや膠原病で、診断困難症例や原因不明の炎症性の変化等でいつもお世話になっております。九州大学病院別府病院は、今後新しくなり、さらに地域の診療を担う中核病院になると思います。当院ともども今後ともよろしくお願いいたします。

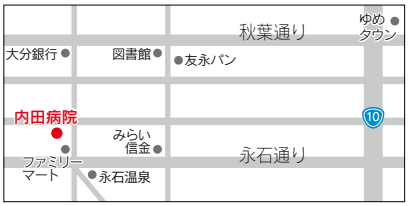
◆DATA

住　　所：大分県別府市末広町3番1号
電　　話：0977-21-1341

資　　格：日本消化器病学会　認定医・専門医
財団法人日本体育協会公認スポーツドクター
アメリカ心臓協会　ACLSプロバイダー・BLSプロバイダー
日本消化器内視鏡学会　指導医・専門医
大分オレンジドクター
日本医師協会認定　健康スポーツ医・産業医

診療科目：内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、内視鏡内科、糖尿病内科、血液内科、放射線診断科、外科、整形外科、リハビリテーション科、皮膚科、アレルギー科、麻酔科

◆アクセスMAP



Topics 新任医師の紹介

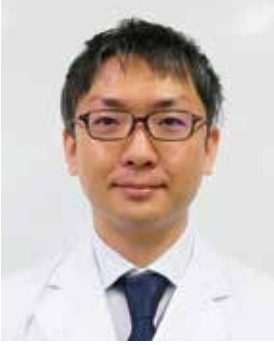
内　科

三苫　弘喜　（みとま　ひろき）

2023年4月に内科に赴任致しました三苫弘喜と申します。九州大学病院（本院）にてリウマチ・自己免疫性疾患の臨床、研究、教育に取り組んで参りましたが、この度別府病院で勤務させていただく御縁をいただきました。私が医師として勤務を始めたのは1999年ですが、その後リウマチ・自己免疫性疾患の治療は大きく進歩しました。しかしながら治療に伴う副作用や治療抵抗性の症例や病態など未だに多くの課題が残っています。当院では継続的にリウマチ性疾患の診療を行っており、多くの治療オプションを備えています。これまで培ってきた経験を生かしながら、全人的医療に取り組みたいと考えておりますので、何卒宜しくお願い致します。

花村　文康　（はなむら　ふみやす）

2023年4月より内科に赴任しました花村文康と申します。2012年に九州大学を卒業後、腫瘍内科医を志ざし県立宮崎病院、九州大学病院、福岡和白病院などで勤務を行い大学院での研究活動を経た後に九州がんセンターで3年間勤務をし薬物療法専門医となりました。今までは主に胃癌、大腸癌、神経内分泌腫瘍などの消化器癌を中心に診療を行ってきておりその他原発不明がんや軟部肉腫などの希少がんの薬物療法も経験してきました。また昨今注目されているがんゲノム医療にもエキスパートパネルメンバーとして参加しておりました。別府病院の患者様方に最新最良のがん医療を提供できるよう頑張っていきたいと思います。



土井　吾郎　（どい　ごろう）

2023年4月より内科に赴任しました土井吾郎と申します。出身は広島県です。2013年に九州大学を卒業後、浜の町病院で初期研修を終え、九州大学病院や産業医科大学病院でリウマチ・膠原病診療および基礎研究に携わって参りました。この度、歴史ある別府病院で勤務できることを大変嬉しく思います。

リウマチ・膠原病を専門とする医師として、患者さんそれぞれの痛みや苦悩に寄り添った診療を心がけています。皆様のお役に立てるよう精進致しますので、どうぞよろしくお願いします。

團塚　裕子　（だんづか　ゆうこ）

2023年4月より当院内科に赴任いたしました團塚裕子と申します。

出身は長崎県です。2016年に久留米大学を卒業後、九州大学病院で初期研修を行い、九州大学第一内科に入局しました。これまでは感染症分野を専門に福岡県内の病院を中心に勤務しており、ここ数年は新型コロナウイルス感染症と対峙する日々でした。これまでの経験を活かし、感染症対策や診療などで地域の皆様に貢献できればと考えております。また、リウマチ診療にも携わりながら内科としての研鑽も積んでいく所存です。微力ではございますが、皆様のお役に立てるよう精進して参りますので何卒よろしくお願い申し上げます。

外　科

長尾　吉泰　（ながお　よしひろ）

2023年4月より九州大学病院別府病院に赴任いたしました長尾吉泰（よしひろ）と申します。三河の地に生まれ、九州大学を卒業し2006年より医師として勤務しております。いままでは初期臨床研修、大学院、留学、福岡東医療センターでの勤務を経て2016年から九州大学病院で勤務していました。肥満症例から門脈圧亢進症症例、肝胆膵高度技能症例、肝臓移植症例まで、幅広く多くの症例を経験してきております。足は二本しかありませんが、多くの草鞋を持っておりますので、少しでも外科に関与する事がございましたら何なりとご相談下さい。大分での生活は初めてですので、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

津田　康雄　（つだ　やすお）

令和5年4月1日にスタッフとして赴任しました津田康雄と申します。生まれは北九州で、佐賀県弘学館高校、平成21年広島大学卒業で今年医師15年目になります。

初期研修を福岡市の九州医療センターで修了してから平成23年に九州大学第二外科に入局しました。大学院卒業後は、飯塚病院で1年間の外科勤務後、東京のがん研有明病院の胃外科に2年間国内留学をさせていただき多くの胃癌症例を経験させていただきました。その後教室（九州大学病院　消化器総合外科）にて上部消化管を中心に消化管グループのスタッフとして2年間勤務し、再度九州医療センターで3年間臨床、研究に従事してまいりました。専門は消化管外科、肥満外科で消化器外科専門医、がん治療認定医のほか、別府で唯一の日本内視鏡外科学会・技術認定医（胃）を取得しています。今年度より吉住朋晴教授、三森功士教授のご高配により九州大学病院別府病院で臨床、研究をさせていただく機会をいただきました。今年度より微力ながら別府医療圏に貢献できるよう九大別府病院を盛り上げていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

吉賀　亮輔　（よしが　りょうすけ）

2023年5月より九州大学病院別府病院外科に参りました吉賀亮輔と申します。九州大学消化器・総合外科に入局した後、血管グループに所属させていただいており、これまで腹部大動脈瘤、下肢閉塞性動脈硬化症、下肢静脈瘤などの治療を中心に臨床に励んでまいりました。今回は基礎研究に励むため当院へ赴任させていただきました。大分出身ですが、入局後は福岡、山口、佐賀などで勤務を行い、久しぶりに古巣へ帰ってくることができとても嬉しく感じています。

皆様のお力になれる様、微力ながら精一杯頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

整形外科

伊東　良広　（いとう　よしひろ）

2023年4月より赴任しました伊東良広と申します。整形外科を専門としております。大学院を卒業後、昨年は九州がんセンターで勤務させていただいておりました。別府市内で勤務させていただくのは初めての経験で、海と山が一望できる景観に別府の自然の豊かさを感じ、日々過ごさせていただいております。

診察にいらっしゃった方が何にお困りで、どうすれば改善できるのかをともに考えていける医療を目指し、日々研鑽に努めて参ります。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

山本　瑛裕　（やまもと　あきひろ）

2023年4月より赴任しました山本瑛裕と申します。福岡で生まれ育ち、医師になって以降も主に福岡県内で過ごして来ました。別府に住むのは初めてですので、美味しい食べ物や温泉などを堪能できたらと思っています。地域のみなさまのお役に立てるよう、日々精進して参ります。よろしくお願いいたします。

放射線科

甲斐　聖広　（かい　さとひろ）

2023年4月より放射線科に赴任しました甲斐聖広と申します。出身は大分県大分市です。

2008年に九州大学を卒業後、福岡市民病院で初期臨床研修を行い、九州大学放射線科に入局しました。関連病院で画像診断・IVRおよび消化管内視鏡の研鑽を積み、2019年4月からは九州大学病院光学医療診療部で上下部消化管の画像診断および内視鏡診療に従事しておりました。

九州大学別府病院では主に画像診断一般と上下部消化管内視鏡を担当させていただきます。地元に近く何かと縁のある別府で勤務することになり、大変嬉しく思います。

これまでの経験を生かし、少しでも皆様のお役に立てるよう精進して参りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

麻酔科

十時　崇彰　（ととき　たかあき）

2023年4月より九州大学病院より別府病院に赴任しました十時崇彰と申します。

これまで、様々な大学病院で麻酔・救急/集中治療の研鑽を積んできて、コロナ禍では超重症患者さんの治療にも携わってきました。別府病院では、術前から術後にかけて”シームレスに安全第一”で周術期医療を提供するだけでなく、痛みのできるだけ少ない麻酔管理を提供したいと考えております。

毎朝、美しい別府湾と立ち上る湯煙を眺めながら、とても清々しい気持ちで仕事に取り組めております。

満足度の高い医療を提供できるよう、日々研鑽して参りますので、よろしくお願い致します。

九州大学病院別府病院　外来診療案内

2023年6月1日現在

科名	外来診療区分	月	火	水	木	金
内科	リウマチ・膠原病（新患予約制）	三苫弘喜 土井吾郎	三苫弘喜（再来） 土井吾郎（再来）	三苫弘喜 柏戸佑介 團塚裕子	病棟回診日	三苫弘喜（再来） 柏戸佑介
	血液病		山崎聡	山崎聡		山崎聡
	がん・腫瘍（新患予約制）	花村文康	花村文康			花村文康
	循環器病一般 心不全・肺高血圧外来 血管疾患外来 睡眠時無呼吸外来 難治性高脂血症外来 （新患予約制）	秋山雄介	秋山雄介 午後 心血管カテーテル検査・治療日	秋山雄介	病棟回診日 午後 心血管カテーテル検査・治療日（予備日）	休診日
外科	一般 消化管 肛門	三森功士 米村祐輔 長尾吉泰 津田康雄	三森功士 手術日	三森功士 米村祐輔 長尾吉泰 津田康雄	三森功士 手術日	三森功士 手術日
	肝・胆・膵	米村祐輔 長尾吉泰	手術日	米村祐輔 長尾吉泰	手術日	米村祐輔 長尾吉泰
	乳腺	三森功士 増田隆明	三森功士 手術日	三森功士 増田隆明	三森功士 手術日	三森功士 増田隆明
整形外科（脊椎脊髄）	脊椎外科（完全予約制）	手術日	熊丸浩仁 吉崎真吾 伊東良広 山本瑛裕	手術日	播广谷勝三 吉崎真吾 伊東良広 山本瑛裕	播广谷勝三 熊丸浩仁 山本瑛裕
放射線科	放射線治療	本村有史	本村有史		本村有史	
	放射線画像診断	平川雅和	甲斐聖広	平川雅和	平川雅和	平川雅和
共通	上部消化器内視鏡	米村／津田	甲斐聖広	甲斐聖広	甲斐聖広	米村／津田
	下部消化器内視鏡	米村／甲斐	甲斐聖広	甲斐聖広	甲斐聖広	米村／甲斐
	EMR/ESD	甲斐聖広	甲斐聖広	甲斐聖広	甲斐聖広	甲斐聖広
	ERCP	――	――	――	――	――
	セカンドオピニオン	要予約				

※担当医は変更となる場合がありますのでご了承ください。

受付時間
初診　8:30〜11:00
再来　8:30〜12:00（予約の方は除く）

地域医療連携室へお電話ください
- 整形外科 … 完全予約制
- 内科：リウマチ・膠原病、がん・腫瘍、循環器 … 新患予約制
- 放射線治療 … 初診8:30〜11:00

※但し土日、祝日は休診（急患は除く）　代表電話0977-27-1600　地域医療連携室：フリーダイヤル 0120-272-518　直通：0977-27-2055

地域医療連携室より問合せ先ご案内

◆CT・MR・骨密度・内視鏡検査のご依頼

放射線科受付 0977-27-1722（直通）

- 検査依頼は、電話にて受け付けております。依頼検査優先時間帯を設けています。
- 結果は、CDデータ、報告書とともに、ご依頼いただきました先生方へ迅速にお返事いたします。

◆放射線治療のご依頼

地域医療連携室 0120-272-518（専用）
0977-27-2055

- 乳癌、食道癌、肺癌、前立腺癌、悪性リンパ腫、癌性疼痛に対する緩和治療、その他の悪性腫瘍についてはご相談ください。
- 放射線治療の診療は、事前に連絡をいただければ、持ち時間が少なくなるよう配慮させていただきます。

その他、外来・入院に関するお問い合わせ

月〜金　8:30〜17:00　0120-272-518（専用）
TEL：0977-27-2055（直通）　FAX：0977-27-3008（24時間受信可）

九州大学病院別府病院
Kyushu University Beppu Hospital
〒874-0838　別府市大字鶴見字鶴見原4546番地
代表　TEL 0977-27-1600
URL　https://www.beppu.kyushu-u.ac.jp/